

## 検討を行った主な項目

## ○救急医療管理加算1、2

## 【理由】

試算適用の結果、回復期機能の病床が想定よりも少なく出てしまうことから採用を見送り

## ○救急車の搬送台数

## 【理由】

病床機能報告の報告事項対象外。また病棟別での件数がない。

## ○放射線治療

## 【理由】

がん治療を行っている病院のなかでも、特に集学的治療ができる場所に限られる。また、外来での実施ができるもの。

## ○人工心肺

## 【理由】

試算適用の結果、ほとんどが全身麻酔のなかに結果が内包されてしまうことから採用を見送り

## ※その他内科系指標についての意見

内科系の指標は難しく、病床機能報告の項目では、かなり特殊なものか、すごく一般的なものかどちらかしかない。例えば、中心静脈注射を採用すると、幅広く急性期として拾い過ぎる。